

3. 市民の公共交通利用実態・ニーズ調査・分析

3.1 アンケートの実施概要

二本松市における公共交通のあり方検討を行うために、市民の公共交通の利用実態や外出実態把握、さらには公共交通に対するニーズ、改善点等を把握するためのアンケート調査を実施した。

(1) アンケート実施概要

アンケート調査は、市民の外出実態、公共交通利用実態およびニーズを広く把握のための郵送アンケート、個別の公共交通利用者による評価としての路線バスアンケート、ようたすカーアンケート、ひょうたん号アンケートの4種類を実施した。

表 3-1 アンケート調査内容

種類	目的	調査方法
①郵送アンケート	市民全般を対象として、外出や移動の実態、公共交通の利用実態、ニーズ把握	行政区別、年齢層別（15歳以上を対象）の人口配分に応じた、無作為抽出による郵送配布、郵送回収
②路線バスアンケート	路線バス（廃止代替バス、自治体バスを含む）利用者の路線バスの利用実態把握およびシステムの評価	路線バスに市職員が乗車し、利用者に直接配布、郵送回収
③ようたすカーアンケート	ようたすカー登録者のようたすカーの利用実態把握およびシステムの評価	ようたすカー登録者から無作為に配布対象を抽出し郵送配布、郵送回収
④ひょうたん号アンケート	ひょうたん号利用者のひょうたん号利用実態把握およびシステムの評価	運転手の協力による利用者への直接配布、郵送回収

表 3-2 配布と回収状況

種類	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
①郵送アンケート	5,683 票	2,770 票	2,767 票	48.7%
②路線バスアンケート	540 票	200 票	200 票	37.0%
③ようたすカーアンケート	200 票	122 票	119 票	59.5%
④ひょうたん号アンケート	150 票	113 票	112 票	74.7%
合計	6,573 票	3,205 票	3,198 票	48.7%

(2) アンケート調査の内容

表 3-3 ①郵送アンケート調査内容

設問	把握する事項	結果の解析
個人属性	住所、性別、年齢、職業、運転免許の有無、自動車の保有、家族による自動車送迎の有無、外出時の補助具	個人基本属性の把握 (フェイスシート)
日常の移動・外出実態	一番良く行く行き先、目的、外出状況(時間、回数、交通手段) 二番目に良く行く行き先、目的、外出状況(時間、回数、交通手段)	現状の市内移動の把握 現状の公共交通利用状況の把握
公共交通やマイカーの利用実態	公共交通の認知度 バス等公共交通の利用実態 マイカーの利用実態 自動車の送迎の実態	
現在の移動に対する満足度・課題	公共交通の改善すべき内容 公共交通の今後のあり方	公共交通のニーズと現状評価 今後の公共交通のあり方、市民負担の可能性等の検討

表 3-4 ②路線バスアンケート調査内容

設問	把握する事項	結果の解析
個人属性	住所、性別、年齢、職業、運転免許の有無、自動車の保有、家族による自動車送迎の有無	個人基本属性の把握 (フェイスシート)
よく利用するバス停	よく利用するバス停、時間帯	現状の路線バス利用状況の把握
路線バスの利用	利用回数、利用目的	
路線バスの評価	バス停、行き先、運行頻度、運行時間、定時性、料金の評価	路線バスの課題、ニーズの把握および評価

表 3-5 ③ようたすカーアンケート調査内容

設問	把握する事項	結果の解析
個人属性	住所、性別、年齢、職業、運転免許の有無、自動車の保有、家族による自動車送迎の有無	個人基本属性の把握 (フェイスシート)
ようたすカーの利用の有無	利用状況 利用していない人は利用しない理由	現状のようたすカーの利用状況の把握
ようたすカーの利用状況	利用回数、利用目的、時間帯	
ようたすカーの評価	行き先、運行頻度、運行時間、待ち時間、料金の評価	路線バスの課題、ニーズの把握および評価

表 3-6 ④ひょうたん号アンケート調査内容

設問	把握する事項	結果の解析
個人属性	住所、性別、年齢、職業、運転免許の有無、自動車の保有、家族による自動車送迎の有無	個人基本属性の把握 (フェイスシート)
よく利用するバス停	よく利用するバス停、時間帯	現状のひょうたん号利用状況の把握
ひょうたん号の利用	利用回数、利用目的	
ひょうたん号の評価	バス停、行き先、運行頻度、運行時間、定時性、料金の評価	ひょうたん号の課題、ニーズの把握および評価

次頁よりアンケート調査の結果を示す。(詳細は参考資料参照)